※令和４年度以降入学生用

学校番号	2001

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「歴史総合　近代から現代へ」　（山川出版社）						
副教材等	ダイアローグ歴史総合　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去の一点一点が「現在」につながっていることを認識し、現代社会が直面する諸課題について主体的に考察し、より良い社会を構築する指針とする。
・これから世界をフィールドに活躍する際に、現在自分が生きる国の歴史や在り方について必要な知識と理解を持つことにより、他国や異なる文化を理解し、尊重する姿勢を養うことができる。
・歴史は実証的な学問である。つねに公正かつ客観的な視点を持ち、歴史的事象を多面的かつ多角的に捉えることができる柔軟な視点が必要である。
・近現代史を深く学習することにより、グローバル化した世界の状況を読み取る。

２　学習の到達目標

・近現代史を中心とする日本と世界の歴史の展開を理解するとともに、諸資料から歴史に関する情
報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・近現代を中心とする日本と世界の歴史の展開を、地理的条件などとも関連付けて考察することを通して歴史的思考力を培い、現代の日本と世界が直面する諸課題について深く考察する力を養う。
・グローバル化が進む現代において、平和で民主的な世界を構築するために国際社会に主体的に生きる人間としての自覚と資質を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	近現代の歴史の展開から課題を見いだし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する国民としての責任を果たそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	近代化と私たち	・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	a: 主権国家の概念と現在の国家との比較をおこない、その違いについて理解を深めている。 b: 地域別の活動を理解し、どういう経緯で融合していくかをまとめている。 c: 近代国家が形成される過程に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
		・明治維新と日本の立憲体制 ・帝国主義の展開とアジア	a: 19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての近代史の展開についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。 b: １９世紀のおける植民地の意味とその構造を政治面と絡めて考察している。 c: ：ヨーロッパの海外進出がもたらす新たな世界秩序について理解を深め、現代世界との関連性に関心を高めている。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
二学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会	a: 国際社会での日本の立ち居地、対応について確認しその内容を理解している。 b: 1910 年代～20 年代の社会運動の高まりについて、経済の動向やデモクラシーの風潮を関連づけて多面的・多角的に考察する。 c: 第一次世界大戦前後の世界の動向やの日本の経済、社会について意欲的に調べ、日本の植民地の動向などを踏まえて 1910 年代の近代史の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート

※令和４年度以降入学生用

		・経済危機と第二次世界大戦 ・戦後の国際秩序と日本の改革	a: 第二次世界大戦の展開と戦時下の社会，植民地の動向などについての基本的な事柄を国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。 b: 人類史上最悪の世界戦争に対して、どうような知恵をもって対処し平和を維持するかを思考している。 c: 現代の国際関係との関連性に留意しながら、政治的、思想的対立と国家形成について意欲的に探究している	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
三学期	グローバル化と私たち	・冷戦と世界経済 ・グローバル化する社会	a: 第二次世界大戦後の基本的な事件や現象を身につけ現代世界の成り立ちを理解している。 b: 具体的なデータをもとに国際社会の経年変化を捉え、冷戦時代とその後の変化をまとめている。 c: 第二次世界大戦後の諸地域の変化と現在まで続く課題について意欲的に探究している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート
		・現代の課題	a: 冷戦体制の終焉，経済のグローバル化の進展，そして 21 世紀に入ってからの日本・世界の政治・経済・社会の動向についての基本的な事柄を，国際環境と関連付けて理解し，その知識を身に付けている。 b: 現代の諸課題を、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c: 現代の世界の動きを新聞・ニュース等で積極的に集め追求している。	定期考査	定期考査	レポート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度